

平成二十九年二月投句

【住吉神社・節分祭】

梅一輪茶店の客の増え初め

桃の弓放つ葦の矢厄払

おみくじを禁じ花芽の梅の枝

勝利

護摩の燠残し節分法話かな

真理子

艶聞を小耳にはさみクロツカス

墨染の雲の絶え間の月冴ゆる

海峡を前にのびのび春告鳥

鬼の舞ふ本堂節分前夜祭

迷ひつつ同じ道行く春の町

節子

やうやくに一つ飛び来し福の豆

由紀子

雪しろの川を横目に細き径

三方に春呼ぶ葦矢放ちをり

雪しろや町へ列車の日も近し

梅三分出番待ちせる園児らに

光子

我が屋根の上にオリオン冴返る